

2018年度役員候補の

プロフィール紹介

中央執行委員長候補

末岡宏 (人文・理分会)

自己紹介：専門は中国近代伝統思想なのですが、最近では日中間各国のドラマに見られる文化の違いなんかも考察しています。それと以前世界の映画コロキアムをやっていたこともあり、映画のDVDを大量に持っていますので皆さんと見てみたいです。

2007年度に一度委員長をしましたが、その後一時管理職となり組合を離れていました。昨年度から五福地区労働者の過半数代表と中央執行委員で組合に再び咲きました。今回は退職までわずかですが、委員長をお引き受けすることにしました。

体調は万全ではありませんが、皆さんの協力できんとかやっつけようと思ひます。

豊富と言えるかどうかわかりませんが、誰でもできる執行委員長を目指したいと思ひています。

副委員長候補

入江幸二 (人文・理分会)

自己紹介：人文学部歴史文化講座に所属しています。専門は近世スウェーデン史で、いわゆる絶対王政時代の政治や軍事などについて研究しています。一昨年からアーカイブ設置検討準備室の室長として、富山大学学部のコーディネーターや富山大学展も担当しています。



副委員長候補

藤田公仁子 (本部分会)

自己紹介：地域連携推進機構・生涯学習部門の専任教員です。専門は社会教育・生涯学習で、大学開放プログラム開発、現代の食生活・食文化と規定している社会的諸条件、博物館教育の学習プログラム等について研究しています。学芸員の資格を持ち、学芸員養成も協力しています。この間、組合活動でも中執のメンバーとして頑張っています。

書記長候補

池田真治 (人文・理分会)

自己紹介：人文学部哲学・人間学コースで、哲学を担当しております。専門は西欧近世の数理哲学史で、主にデカルトやライプニッツについて、数学と哲学の関係という観点から研究しています。研究テーマとしては、連続体の問題、近年は概念形成の問題に取り組んでいます。

書記次長候補

中村只吾 (人発分会)

自己紹介：専門は日本近世漁村史です。当該期の漁村の秩序とその変容について、漁業に関わる知のあり方、網元の位置づけ、市場・流通関係、災害など諸側面から追究しています。

本学での経験はまだ浅いですが、任に就かせていただいた際には、昨年度に引き続き、周囲に学びながら地道に務めてまいりたいと思ひます。

書記次長候補

野沢豊一 (人文・理分会)

自己紹介：人文学部社会文化コースに所属しています。専門は文化人類学で、主に米国の黒人キリスト教会においてフィールドワークをしてきました。最大の関心は音楽や芸能ですが、最近では宗教や信仰という観点からも研究しています。

また、富山県内でも八尾町のおわらや獅子舞に関する調査を進めつつあります。

投票期間
6月6日(水)～
6月12日(火)まで

執行委員候補

木村 巖(人文・理分会)

執行部の中には、どうしても、理学部の方に入って貰わないと、学部の様子が分からないので・・・とお願いし、中執のメンバーに加わってくれました。(T)

執行委員候補

宮井清暢(経済分会)

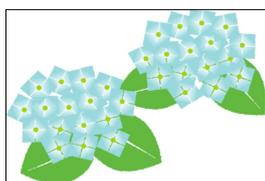
今後、組合には厳しさが増すように思われます。宮井さんのような、法律に強い方が必要な気がします。

組合の法律顧問のような役をお願いできればと思います。(T)

会計監査候補

小谷瑛輔(人文・理文化)

自己紹介： 人文学部東アジア言語文化コースで、日本の近代文学を専攻しています。芥川龍之介、将棋と文学の関係、富山大学に蔵書のあるラフカディオ・ハーン、富山の郷土の文学など、様々な観点から研究しています



会計監査候補

山根 拓(人発分会)

自己紹介：1995年に富山大学教育学部着任以来、今年で24年目を迎えました。専門は人文地理学で、特に近現代の歴史地理学や地域地理学(日本、デンマーク等)を中心に研究しています。学部では昨年度まで9年間、国際交流委員会委員長として当該事業に携わってきました。組合では分会委員長などを務めてきました。自由で公正な大学を取り戻せるよう、尽力できればと思います。

2018年7月12日(木)18:15～
富山大学教職員組合 第69回定期大会
場所： 経済学部7階大会議室